

カヌー・スラローム会場 施設運営について



1. 建設予定地の概要・周辺図

周辺図



立地条件

所在地

東京都江戸川区臨海町6丁目1番
葛西水再生センター内

周辺 土地 利用

- 東側：葛西臨海公園、葛西海浜公園、ゴルフ場、トラックターミナル、倉庫群
- 西側：荒川
- 南側：東京湾
- 北側：首都高速道路、病院、団地、小学校、高校等

交通 アクセス

- J R 京葉線「葛西臨海公園」駅から徒歩約12分
- 首都高速道路湾岸線から車でアクセス

所有の状況

土地所有者は東京都（所管：下水道局）

上位計画等

- （上位計画等）
- 「東京都長期ビジョン」（平成26年12月策定）
 - 「東京の都市づくりビジョン」（平成21年7月改定）
 - 「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会江戸川区推進プログラム」（平成28年1月）

- （その他関係法令等）
- 「都市計画法」「建築基準法」「下水道法」など
 - 用途地域 工業地域

2. 事業内容（例）

1 国内初の人工スラロームコースによる様々な水上スポーツの機会を提供

- カヌーを始めとした水上競技の国際大会、国内大会の実施
- 国内選手の強化・育成の拠点
- ラフティング体験、カヌー・カヤック教室 等

【カヌー競技（スラローム）】



【カヌー競技（ワイルドウォーター）】



【ラフティング競技】



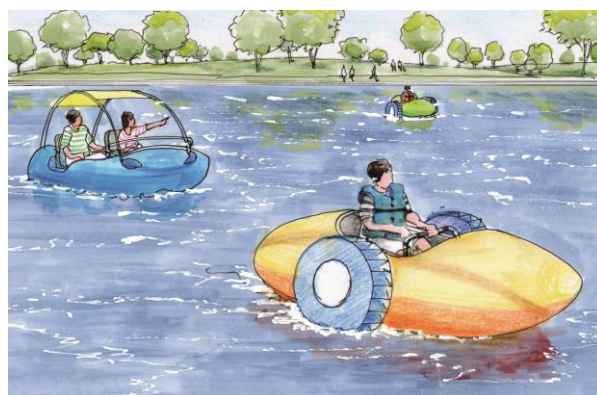
【カヌー・カヤック教室の風景】



2 施設特性を活かした様々な活用の推進

- 水上レクリエーション
- 水難救助訓練（消防関係者・都民向け）、企業研修 等

【水上レクリエーション】



【水難救助訓練】



周辺施設、地元区と一体となった賑わいの創出

○ 葛西臨海公園、葛西海浜公園等との連携

【葛西臨海公園】



【葛西海浜公園】



○ 周辺施設と連携したイベント等の開催

【野鳥観察】



【植物観察】



【江戸川区カヌー体験教室】



3. 事業実施場所（例）

スラロームコース

【競技利用】

- カヌー競技大会
- カヌー競技練習
 - 団体貸切
 - 個人利用

【レクリエーション利用】

- ラフティング等体験

【訓練】

- 水難救助訓練



フィニッシュエリア

【競技利用】

- カヌー競技練習
(団体・個人)

【レクリエーション利用】

- 水上遊具
- スタンドアップパドルボード
など



スラロームコースやフィニッシュエリアの活用に加え、公園と施設を結び付ける賑わいの創出を検討

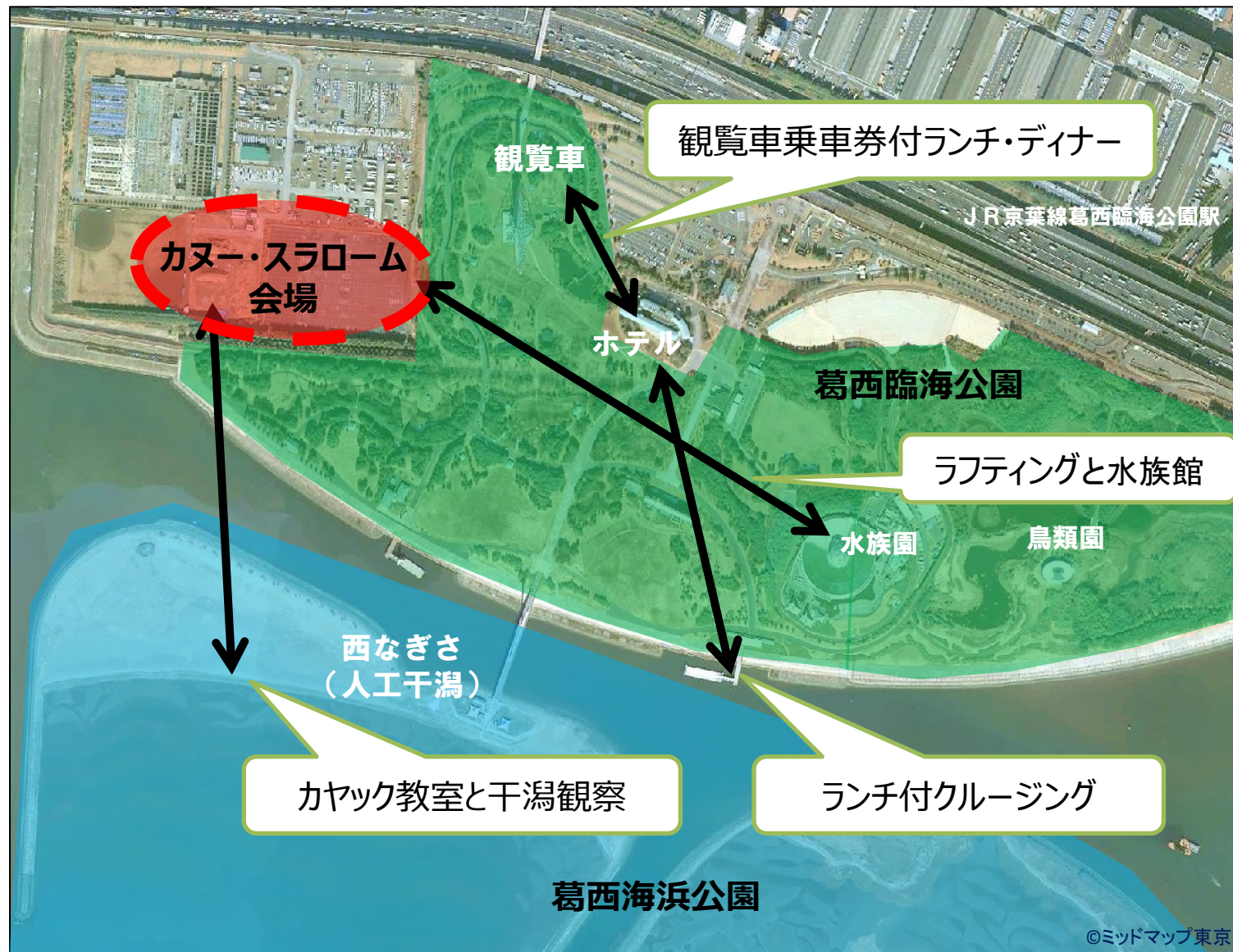
(注1) 現在基本設計中のため、イメージ図としています。

※この内容は支援事業者の提案等に基づく現時点での想定であり、今後変更する場合があります。

4. 周辺地域との連携

- カヌー・スラローム会場に隣接する葛西臨海公園と葛西海浜公園は、年間300万人以上が訪れる都会にいながら自然を満喫できる都内有数のレジャースポット。
- あらゆる都民が1日中楽しめる新たなレジャー・レクリエーション施設とするため、カヌー・スラローム会場、葛西臨海公園、葛西海浜公園の一体的な運営を検討していく。

連携のイメージ



検討例

- ・各施設の現状把握・分析
 - ・全体コンセプトやゾーニング
 - ・相乗効果を生み出す事業
 - ・既存資源の活用
 - ・一体的な管理運営方法
 - ・地元区との連携
- (シャトルバスの運行、サイクリングロードの整備、新左近川カヌー教室等)

国内初の施設の有効活用と賑わいの創出

- ラフティングなどレジャー利用も含めた様々な利用の可能性
- 施設の有効活用
 - ・公園と施設を結び付ける賑わいの創出、平日の利用促進
- 葛西臨海公園・葛西海浜公園など周辺施設と連携した賑わいの創出（コンセプトやゾーニング、賑わい創出など）
- 施設運営にあたり考慮すべき事項
 - ・大会開催や練習など施設利用の優先度
 - ・レジャーその他利用料金や競技利用料金のあり方